

特集 ノーベル賞 2023



計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
https://www.keiryu-keisoku.co.jp/
購読料年間 27,500円 (消費税込み)

2023年ノーベル賞の各賞が決まる

2023年のノーベル賞発表は10月2日(月)の生理学・医学賞から開始。物理学賞は3日(火)、化学賞は4日(水)、文学賞は5日(木)、平和賞は6日(金)、経済学賞は9日(月)と続いて発表された。

2023年のノーベル生理学・医学賞は米ベンシルベニア大学のカタリン・カリコ非常勤教授(68歳)と同大のドリュエ・ワイスマン教授(64歳)。



ノーベル生理学・医学賞

スウェーデンのカロリンスカ研究所は10月2日、2023年のノーベル生理学・医学賞を米ベンシルベニア大学のカタリン・カリコ非常勤教授



ノーベル生理学医学賞
カタリン・カリコ氏



ノーベル生理学医学賞
ドリュエ・ワイスマン氏

(68歳)と同大のドリュエ・ワイスマン教授(64歳)に授与すると発表した。2人は遺伝情報を伝える物質「メッセンジャーRNA(mRNA)」を使うワクチンに欠かせない基盤技術確立に貢献した。新型コロナウイルスワクチンを実用化に導いた業績が大きく評価された。mRNAの医薬品応用への道を切り開き、新型コロナウイルスワクチンの早期実現につながった功績は大きい。

3444・3445号を合併号とし、10月29日付で発行します。

を克服することが課題であった。医薬品への応用にどのような形で道を拓くか模索されるなか、カリコ氏はmRNAの一部の分子に手を加えることで炎症反応が低下することを突き止め2005年に2氏は論文を発表していた。その後、mRNA合成時の不純物を取り除きタンパク質を作る効率を高める方法を開発するなど技術を進化させ、新型コロナウイルスの流行の収束をもたらすワクチン製造を実現することに貢献した。

新しい治療法や医薬品に対しノーベル賞は評価に10年ほどの間をおいてきた。副作用がノーベル賞の後に発生する事例があるためだ。しかし今回の受賞は新型コロナウイルス対応のワクチンが2020年末に開発され、実用化から3年未だでの授賞である。異例のスピード受賞は創薬技術の革新性への貢献が評価されたから(次ページへつづく)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamatoscale.co.jp/

今週の主な記事

- 特集ノーベル賞2023 ①②③④⑤⑥⑦⑧面
- 日本製鉄・低CO2鋼材の採用が決定 ⑧面
- 株式会社島津製作所・機構改革と人事異動 ⑨面
- 「計量器コンサルタント資格取得講習会」開催を延期 ⑨面
- 明治・田中館愛橋、高野瀬宗則、関菊治の時代の高等教育事情その2 / ハナミズキの白い花と赤い実・甲斐鐵太郎 ⑩面
- 社説 ⑪面
- 日本品質保証機構・愛知県刈谷市にて無料セミナー開催 ⑫面
- 経済省・印ルディ下院議員一行による表敬 ⑫面

私たちイシダグループは、世界中のお客様の課題を革新的に解決し、安全・安心で豊かな社会の創造に貢献します。

はかりしれない技術を、世界へ。

ISHIDA

株式会社イシダ www.ishida.co.jp
本社 京都市南区西九条東比永町75番地 GRAND KYOTO 3F TEL 075-771-4141